



ながた典子

NAGATA NORIKO

—KOMEITO— 公明党 大阪市会レポート スマイル通信

2016年秋号
SMILE COMMUNICATION
Vol.3



発行所 ながた典子市政事務所 〒547-0043 大阪市平野区平野東1-8-37 TEL 06-6791-1113 / FAX 06-6791-1116

日頃より、多大なお支援を賜り、厚く御礼申し上げます。さてこの度「ながた典子スマイル通信」秋号として、議員活動の様や取組み、皆さまのお声で実現した実績を発信させていただきました。

これからも、「励ましの心・育てる力・安心安全の平野を!」をモットーに、皆さまお一人、おひとりのお声を市政に届けてまいります。今後とも、更なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大阪市議会議員 ながた典子

環境対策特別委員会にて「生ごみのリサイクル」に関する質疑

Q 大阪市では平成28年3月に一般廃棄物処理基本計画を改定し、平成37年度のごみ処理量を90万トンから84万トンに見直したということだが、普通ごみに占める生ごみの割合はどれくらいあるのか。また、生ごみの量を減らすため、どのように考えているのか。

A 大阪市では、ごみ減量施策の進捗を把握するとともに、今後のごみ減量施策の計画に役立てるため、家庭から排出されるごみの組成分析を毎年行っている。

その結果によれば、普通ごみの約35パーセントが生ごみであり、この35パーセントの内の約40パーセントが、調理くず以外の、食べ残しや手を付けていない食品のように、本来消費可能なものであることがわかっていく。

使いきること、料理を残さず食べきること、ごみを捨てる時にはできるだけ水切りをしていただくこと、いわゆる「3切り」運動を市民に啓発していきたいと考えている。



Q 生ごみの処理量を減らすことについて、リデュースだけで実現するのではなく、生ごみについてもリサイクルという方法をとることにより処理量を減らすことがより現実的ではないか。大阪市において生ごみの利活用を行うことはできないのか。

A 生ごみの利活用については環境局としても過去に検討を行っており、平成23年度から24年度にかけて、生ごみと下水汚泥のバイオガス化実験を行っている。

生ごみの利活用については、焼却するごみの減量効果や、水分の多いごみを焼却せずに済むことから焼却工場での熱回収に寄与すること、メタンガスなどの生成物を利用できるなどのメリットがある。

一方で、家庭から出る生ごみを収集して利用するためには、相応の経費をかけて、メタン化などに必要な設備を準備しなければならないといった課題がある。

こうしたことから、生ごみ減量についての市民への啓発を着実に進めてまいりまるとともに、家庭から排出される生ごみの利活用について、引き続き検討してまいります。

要望

メタン化などはエネルギーを最大限回収できる処理方法であり、大阪市では循環型社会を目指して、自立分散型のエネルギーシステムの導入にも取り組んでいってほしい。

活動トピックス



8月15日終戦記念日の街頭活動



毎月、女性党員のカトレアグループの皆さんと、街頭活動させて頂いています。

みなさまのお声がカタチになりました!



Before



After

●加美東の、市営住宅撤去後の未利用地の雑草が伸びたままになっており、カメムシが大量発生しているとの連絡をいただき、早速除草してもらいました。



●平野公園憩いの家にて、ハッピースマイルカフェを開催。区役所の保健師さんの講演、絵本の読み聞かせ等、子育て世代のお母さん方に参加していただきました。



●「JR平野駅西側の地下道が暗くて怖い」と地域の方から要望あり。切れていた電球を交換、全照明器具を点検してもらい、明るくなりました。



●加美東の、国道沿いの歩道の補修を、地域の皆さんからご相談頂き、無事完了。

いきいき生活・ワンポイント・アドバイス

家の中で転ばないための注意ポイント!

- ◎電気製品のコードや電話線
- ◎じゅうたん、マットのめくれやたるみ
- ◎床にある雑誌やリモコン、ゴミ袋
- ◎通路にある家具や家電
- ◎階段や段差



励ましの心・育てる力 安心安全の平野を!

ご相談
お待ちしております!

不在の時間がございますので、
ご連絡をいただいてから、
ご来訪いただければ、幸いです。

☎06-6791-1113

